

## 令和3年度春期 ITストラテジスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021,6,25

4月18日(日)に行われた令和3年度春期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。新型コロナの影響で昨年10月に実施予定だった試験が延期され、今年の4月に実施されたものです。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、ITストラテジスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■ITストラテジスト試験試験 (ST)

[令和3年度春期 ITストラテジスト試験 統計情報]

応募者	5,669人
受験者	3,783人
合格者	579人
合格率	15.3%

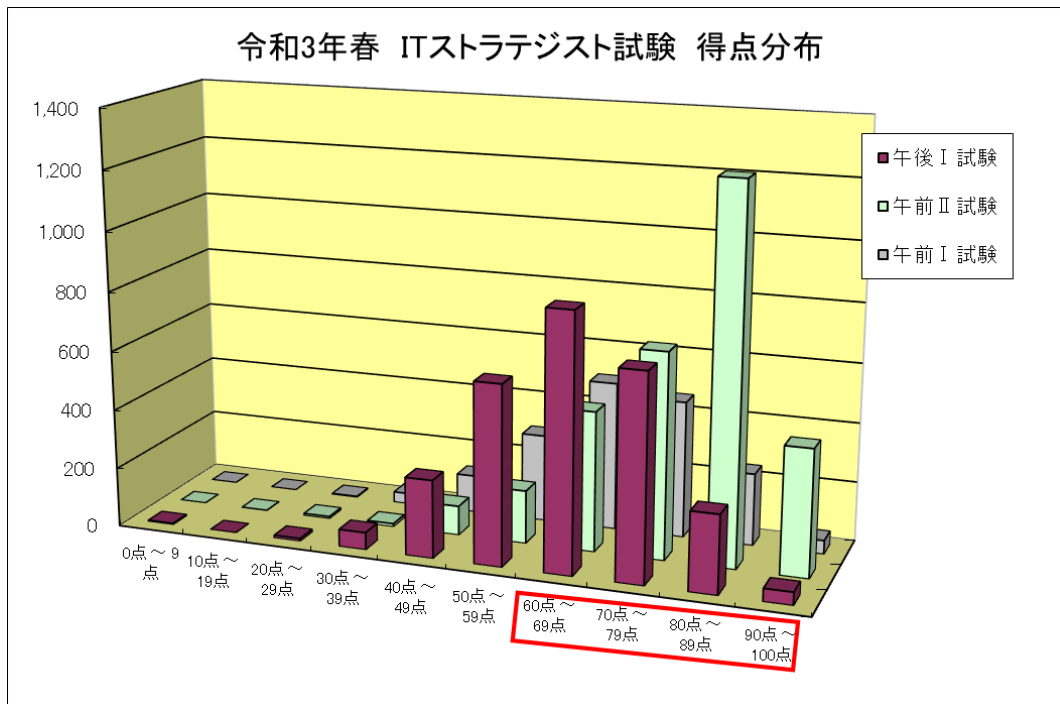
令和3年度春期のITストラテジスト試験の合格率は15.3%で前回の15.4%とほぼ同じです。前回は平成21年度からの現試験制度で最も高い合格率でしたので、それに次ぐ高さです。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和3年度春期 ITストラテジスト試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	4	D 163	
10点～19点	0	1	0		
20点～29点	3	7	9	C 525	
30点～39点	36	10	58		
40点～49点	127	99	262	B 581	
50点～59点	295	179	602		
60点～69点	500	470	857	A 579	
70点～79点	460	689	689		
80点～89点	243	1,248	262		
90点～100点	46	425	43		
計	1,710	3,128	2,786	1,848	579
対前試験比率		182.9%	89.1%	66.3%	31.3%
午前Ⅰ免除者(概数)	2,073	54.8%			

合格者数	579	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	1,249	73.0%	670
午前Ⅱ60点以上合計	2,832	90.5%	2,253
午後Ⅰ60点以上合計	1,851	66.4%	1,272
午後Ⅱ-A評価	579	31.3%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 2,073 人 (54.8%) おり、受験者の 5 割以上の方が午前 II からの受験となりました。

午前 I 試験で基準点 (60 点) 以上の方は 1,249 人 (受験者の 73.0%) で、前回の 68.8% から増えています。問題がやや易しかったことが結果に現れたといえます。

午前 II 試験で基準点以上の方は 2,832 人 (受験者の 90.5%) で、前回の 91.4% とほぼ同じですが、かなり高い結果になっています。

午後 I 試験で基準点 (60 点) 以上の方は 66.4% で、前回試験の 58.7% と比べて増えました。

午後 II の論述式試験で合格点 (A 評価) を取ることができた人は採点対象者の 31.3% で、こちらは前回試験 34.6% よりも少し下がりました。

## ■令和 3 年度春期 IT ストラテジスト試験 出題内容について

### (午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。毎回、午前 I 試験を通過できる 60 点以上の得点者は 5～6 割で、以外と難しく、足元をすくわれないよう確実に対策を進める必要があります。

問題内容は、文章問題は 17 問 (前回 14 問から増)、用語問題は 5 問 (前回 7 問から減)、計算問題が 2 問 (前回 5 問から減)、考察問題が 6 問 (前回 4 問から増) でした。これらは毎回増減がありますが、今回は文章問題がいつもより多い傾向でした。

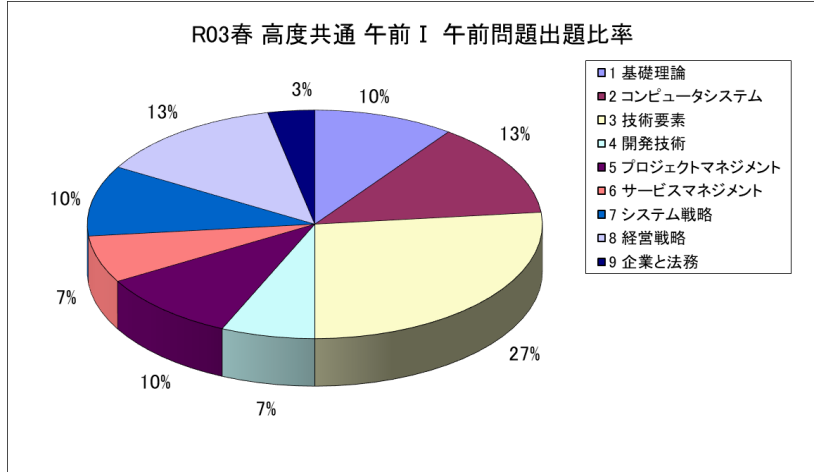
- ・問題は出題範囲からまんべんなく出題される前提ですが、今回は、ヒューマンインタフェース、サービスマネジメント、技術戦略マネジメント、企業活動からの出題はありませんでした。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問でした。
- ・過去問題はこれまで平均で 7 割ぐらいですが、今回は 8 割ありました。内容的には定番問題が多く解答しやすかったといえ、全体として前回よりも少し易しかったと思われます。
- ・新傾向問題は次の 2 問で前回の 8 問からかなり減っています。以前は平均 4 問程度あったので少なかったといえます。

(新傾向問題)

問 6 ページアクセス時に発生する事象の回数

問 28 アグリゲーションサービスに関する記述

令和 3 年度春期 高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

ITストラテジストの午前 II 試験の重点出題分野は、システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、セキュリティの 6 分野ですが、実際には経営戦略マネジメントが 10 問と最も多く、他の重点分野の 1~4 問と大きく出題数が異なっています。今回から重点分野になったセキュリティは 3 問出題されました (前回 2 問)。

新傾向問題としては次の 6 問がありました。前回より増えています。

問 1 DX 推進指標の説明

問 4 プロビジョニングの説明

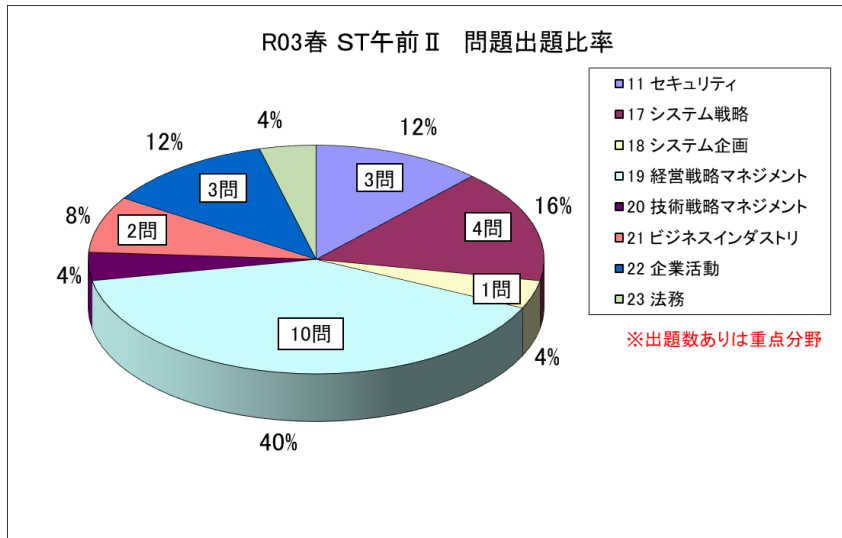
問 5 ビジネスモデルキャンバスの説明

問 8 AIDMA モデルの活用方法

問 18 ダグラス・マクレガーが説いた行動科学理論

問 25 “NOTICE” という取組

令和 3 年度春期 IT ストラテジスト試験 午前 II 問題出題比率



### 〔午後Ⅰ試験（記述式）〕

午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問1のデジタルトランスフォーメーションに関連させて事例、問4のAIを取り上げた事例が新しい内容といえます。

#### 問1 タクシー会社におけるデジタルトランスフォーメーション（タクシー会社） 普通

DXによる新サービス提供、サービス内容、車載アプリ・配車アプリとプラットフォーム連携、課題と対応策、位置情報のリアルタイム表示、走行ルート表示、外部データの活用、利用料の無償提供

#### 問2 小売業の店舗販売とインターネット通信販売の融合（小売業） 普通

会社の現状、情報システム、課題、ネット通販の強化、通販システム構築、店舗の取組、情報システムの対応、ネット通販システムの新規構築理由、会社の課題解決、システム連携機能

#### 問3 印刷会社の写真事業における新規ビジネスの企画（大手印刷会社） やや難

写真事業、小中学校の状況、新規ビジネスの概要、写真購入システム、保護者説明会と要望の対応、会社の強み、事業課題の背景、職員・保護者のメリット、依頼に対応するための実装機能、新たな提案

#### 問4 AIを用いた筋電義手（義手の製造メーカー） 普通

義手の技術、市場状況、展望、試作機の開発、国の方針、大学の研究、製品化検討、目標と開発方針の設定、事業戦略策定、自由度の限定、信号解析技術、AIチップ化、助成金、海外需要、技術供与提案

### 〔午後Ⅱ試験（論述式）〕

午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問1のデジタルトランスフォーメーションを初めて取り上げた問題として新しい内容といえます。

#### 問1 デジタルトランスフォーメーションを実現するための新サービスの企画

DXの取組、オープンAPI、ドローン活用、事業環境・特性、企画内容、活用技術、経営層への提案

#### 問2 個別システム化構想におけるステークホルダの意見調整

事業目標、事業戦略の変革概要、ステークホルダの業務特性、相違意見調整、経営層の評価

#### 問3 異業種メーカーとの協業による組込みシステムの製品企画戦略

企画検討経緯、新市場の特徴、協業検討理由、分担範囲、トレードオフ、判断・分担の妥当性、解決策評価

